



新霊・先祖供養比叡山団参ご案内
～『城崎温泉湯めぐりと天橋立』の旅～

檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。恒例の先祖供養団参を今年も下記日程により実施いたします。今年の団参は1300年以上の歴史を持つ古湯・城崎温泉、その最大の魅力は情緒溢れる街並みです。浴衣に着替えて風情ある温泉街へ散策する旅行を計画しました。多くの皆様のご参加をお願い申し上げます。

- 1. 月 日 平成27年6月15日(月)～17日(水)
- 2. 旅 費 60,000円
- 3. 旅 程 ※詳細についてはお問い合わせ下さい。

6/15：東円寺(出発6時)――御殿場IC=====新東名=====
――昼食 栗東=====琵琶湖大橋=====
(13時40分) 延暦寺団体参拝・・延暦寺会館(泊)

6/16：比叡山(8時30分) ==天橋立(一の宮) ~ ~
ケーブルカー ~ ~ ~ 傘松公園(股のぞき) ~ ~ ~ 一の宮(昼食)
==豊岡かばん工場(見学・買物) ==日和山海岸(日本海の展望)
==城崎温泉(16時20分)・・外湯めぐり等(泊)

6/17：城崎温泉(8時30分) ==日本海海産物センター(買物)
=舞鶴海軍軍港(車窓) == 舞鶴引揚船記念館(見学) =
=昼食==御殿場IC==東円寺解散(19時頃予定)

※旅程は多少変更する場合がありますのでご了承ください。

◎お申し込み受付は4月30日までです。

参加希望の方は予納金1万円を添え、お早めにお寺までお申し込み下さい。

仏参金納入口座のお知らせ

郵便口座

記号 10800 番号 6654231

口座名 トウエンジ 又は 東圓寺

※キャッシュカードでの振り込みですと、手数料が掛かりません。

山梨中央銀行

忍野支店 口座 普通 121086 東円寺

◎ご家族の名前で振り込んだ場合、家の確認が出来ないことがありますので、必ず戸主がわかるようにして下さい。

書と書とも彼岸までと言いますが、日ごと春めいてきました。檀信徒の皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より皆様の菩提寺である東円寺に対してのご助力に衷心より感謝申し上げます。寺の更なる発展を来とし、微力ながらも尽力いたしますので温かなご支援をお願い申し上げます。

さて、富士山が世界文化遺産に登録されて、間もなく二年になります。構成資産の忍野八海も世界遺産として登録されました。休日、平日を問わず、たくさん観光客が訪れています。しかし、最近新しく建てられた、忍野入口の観光案内板には、忍野八海が名水であるとの表示はしてあるけれど忍野八海が世界遺産であるとの表示はありません。そのためか、忍野八海が世界遺産であるとの認識は薄く、ほとんどの観光客は、天然記念物、名水百選の池として見学して帰ります。地元の人達も世界遺産としての認識が薄く、お宝として守っていく意識が高いとは思われません。今年も2月の雪の後、忍野八海を歩きましたが、池の周りの商店が並んでいるところの道路はきれいに除雪されていましたが、肝心の八海めぐりの散策路は、全く除雪されていませんでした。観光客は雪道を、滑って転ばないようにと、危なっかしい足取りで歩いていました。観光客は忍野八海を見学に来ています。「おもてなし山梨県」のスローガンのもと、県内の観光地では観光客をお迎えしていますが、忍野に於いてはこの言葉は無縁だと感じながら八海を巡ってきました。このままでは、やがて冬場の観光客が減少してしまうかもしれません。人情の機微とは不思議なもので、温かな心に分れると、又来たいと思います。おもてなしの心を持ち、温かく迎えられるのです。

合掌

初不動尊大祭 1月28日

交通安全・厄除け祈願祭



お護摩の様子

毎年1月28日には、初不動交通安全・厄除け祈願祭が盛大に行われています。車が普及してきた昭和40年～50年代、交通事故死者数が急激に増えて「交通戦争」とよばれるほどの社会問題がありました。当時の交通安全協会々長さんの発案で富士吉田管内の交通安全祈願を東円寺において行う事になりました。今年も、富士吉田警察署の方々をはじめ、交通安全協会の役員さんや檀信徒の方々がご参拝くださいました。交通安全祈願の他、入試合格・商売繁盛など併せて祈願の護摩を焚いて祈りました。忍野村では交通事故ゼロの日が6千日以上も続いています。

12月29日は、東円寺の「お餅つき」の日です。今年も賑やかに恒例のお餅つきが行われました。お餅はハレの日に神様に捧げる神聖な食べ物といわれています。お寺でも神様や仏様への御供え餅をたくさん作りました。檀家の皆様の一年間の苦を祓い、新しい年が無病息災であるように、力強く祈りを込めて毎年お餅をついています。

12月29日 お餅つき



大晦日 ～除夜の鐘～



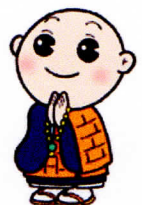
参拝する方々

12月31日から元旦にかけて、たくさんの方が除夜の鐘を撞きに来られました。

仏教では、人には108の煩惱（ぼんのう）があるといわれています。その煩惱を祓う為に除夜の鐘を撞く回数は108回とされています。煩惱（ぼんのう）とは人の心を惑わせたり、悩ませ苦しめたりする心の働きのことを言います。除夜の鐘を撞くことで、古い年の煩惱を祓い、新たな気持ちで一年を出発する事が出来ます。参拝に来られた方々に温かい「おすいとん」と「甘酒」をふるまいました。お寺の物を食べると1年間風邪をひかないといわれています。



お願い
泥酔状態での
鐘突きはとても
危険なのでやめましょう。



お彼岸について

「暑さ寒さも彼岸まで」と申しますように過ごしやすい季節となりましたが、皆様はいかがおすごでしょうか。

さて、上記のことわざでもでてくる「彼岸」ですが、これは全国のお寺に共通する仏教行事のひとつであります。一般的には、慣習などから「お墓参りをする日」とご理解されていますが、では「なぜその日にお墓参りをするの?」と改めて疑問に思う方もおられるかと思えます。そこで今回はお彼岸について一つお話させていただきます。

そもそも「彼岸」とは、極楽浄土を意味します。古来インドでは悟りを開くようにと6つの修行の実践方法がありました。「六波羅蜜」(布施・持戒・忍辱・精進・禅定・智慧)といい、他に分け与える布施、自分を律する持戒、耐え忍ぶ忍辱、努力をする精進、心を集中する禅定、上記5つより得たものによって真理を悟る智慧、この6つを忠実に行い、悟りを開くことによって極楽浄土に生まれかわれることができると云われています。また、お墓参りはこの六波羅蜜を象徴する行いだとされています。

春分、秋分の日には、それぞれ「自然をたたえ、生物をいつくしむ」、「先祖を敬い、亡くなった人々を偲ぶ」という意味あることと、昼夜の長さが同一(「中道」といいお釈迦様の教えの一つ。どちらにも偏らないこと)であり、太陽が真西(極楽浄土がある方角)に沈むことから、お墓参りをするにはとても良い日とされ、昔から先祖崇拝や豊作の感謝をしてきた日本独自の風習が生まれました。

このことから、お彼岸はご先祖様と自然を尊びながら自分自身を見つめ直し、また新たな気持ちで春、秋を迎える準備期間だと考え、お墓参りをされてみてはいかがでしょうか。

八海・新名庄川清掃参加者募集

東円寺では、一隅を照らす運動の一環として、毎月8日に忍野八海・新名庄川の清掃活動をしています。清掃活動を続けて、9年目に入りました。今年も毎月8日に清掃・除草活動をします。天候などで変更する場合は事前に連絡させていただきます。多くの皆様のご理解とご協力をお願いします。

一隅会会員募集

天台宗には宗祖伝教大師の御教えを実践する一つの組織として、天台宗一隅会(一隅を照らす運動)があります。賛同してくださる会員を募集しています。お気軽にお問い合わせください。

～ご詠歌に参加しませんか～

3月～12月 第2・第4月曜日

午後2時～3時

ご詠歌の楽しみは、練習の後のお茶飲みです。住職を囲んで、雑談会をしています。お友達同士誘い合っただけのご参加をお待ちしております。

天台青少年の集い参加者募集

「天台青少年の集い」とは、天台宗の総本山である比叡山延暦寺にて、「一隅を照らす」精神を持った青少年の育成を目的とした2泊3日の合宿です。日常生活とは違う空気の中で過ごす貴重な体験ができます。是非ご参加下さい。

※中学生・小学6年生であればどなたでも参加可能です。お申し込み・お問い合わせは東円寺まで



◆子育て地藏尊大祭を別紙にてご案内しております。
多くの皆様のご参加をお待ちしております。



観音堂再建基金浄財寄進のお願い

平成21年10月より、聖観音堂建立のため寄付金を募っております。東円寺には文保元年（1317年）「丹後国住人 運慶法印曾孫岩見静存」と言う仏師により造られた、村指定重要文化財の聖観音像があります。忍草浅間神社には、三体の御神像があります。この三神像は、国指定重要文化財に指定されています。聖観音像と、三神像は同じ仏師により造られました。幕末までは、浅間神社の境内の観音堂に安置されていましたが、明治の神仏分離により、聖観音像は東円寺に遷座されました。以来、百四十余年間、聖観音様のお堂がありませんでした。この度、2017年には、聖観音像造像700年にあたりますので、記念事業として観音堂の再建を発願し現在に至っております。

1. 浄財受付期間 平成21年10月より平成28年9月まで
2. 建立予定 平成28年末
3. 建設費用 3,000万円
4. 浄財寄進方法 ※写経による浄財（志納金1,000円）
※篤志寄進（10,000円以上）

◎皆さんの写経は、観音堂の中に永久保存されます。

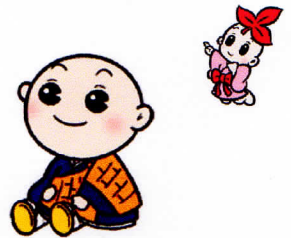
また、篤志寄附者の芳名は観音堂の中に刻銘して永久保存します。



～観音堂再建基金寄附者芳名～

平成26年12月～平成27年2月

平成27年1月吉日	大森秋利殿	50万円
平成27年2月吉日	渡辺和美殿	10万円
平成27年2月現在	基金	9,748,463円



～寺庭のつばやき～

檀信徒の皆様には、平素より東円寺に対しまして温かなご支援ありがとうございます。昨年、平成26年11月13日天台宗の前座主渡辺恵心猥下が104歳で遷化されました。東円寺と前座主とは、深い縁がありました。東円寺の現住職は大学生時代に行院（天台宗のお坊さんになるための修行をするところ）へ行きました。その時の行院長先生が前座主猥下でした。東円寺の前住職が遷化した後、住職任命式が比叡山でありました。住職の任命は座主猥下から拝命します。この時の天台座主が渡辺恵心猥下でした。「鷹野君元気にしていたかい。今でも先生を続けているのかい。山梨県には東円寺しかないからね、頑張るんだよ。」と、お声をかけて任命証書をくださったそうです。大学を卒業してから30年以上の歳月が過ぎていました。高校教師となった住職の経歴を前座主猥下は覚えていてくださったことに、住職は感動していました。渡辺座主（当時）のお言葉は、私たちの胸に深く刻まれました。けれども、何から頑張ればいいのか。模索する中、出した答えは、比叡山に毎年行かせていただくことでした。その年に亡くなられた御先祖様を東円寺の本山である比叡山にお連れして、供養をしていただく「先祖供養団参」をすることを当時の総代さんと話し合い決めました。毎年団参をすることを決めてから10年の歳月が流れました。いつの頃からだったのでしょうか、比叡山会館の夕食に渡辺座主のお名前でお酒が届いていました。毎年必ず用意されていました。東円寺の年中行事を必死にしながら、先祖供養団参の準備や当日も行事を滞りなく済ませることで精一杯だった私たちは、その時まだ渡辺座主のお気持ちを理解していませんでした。お座主を引退されてからも、必ずお酒は届いていました。東円寺に対して慈悲深いお心を尽くして下さっていたことに気付くと、感謝で熱くなりました。今年も6月には先祖供養団参を計画させていただきました。多くの檀信徒の皆さんにご参加いただきますようお願い申し上げます。天台宗の座主猥下からいただいたお慈悲をしっかりと心に刻み、これからも東円寺の更なる発展に精進して参りますのでご支援のほどよろしくお願いいたします。